

修練会の気になる 1 冊 (ほん・本・ブック)

公益財団法人豊島修練会 令和 3 年 5 月号 (通算第 号)

子どものほん (子ども、小学生&中学生)

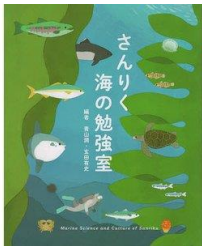
作・室井滋、絵・長谷川義史「会いたくて会いたくて」小学館 1320 円

新型コロナウイルスが心配で、おじいちゃんやおばあちゃんなど会いたい人に会えない状況がしばらく続いています。この本を、声に出して読んでみましょう。あなたの大切な人を思う優しい気持ち、温かい心が受け止めてもらえるような気持ちになります。

会いたい人に会い得るという当たり前のことが、とても大事なことでとよくわかります。



大人の本 (パパ&ママ、ジジ&ババなど)



青山潤・玄田有史編「さんりく海の勉強室」 岩手日報社 1430 円

本書は、もともと岩手日報社の子ども新聞「ジュニアウイークリー」に掲載されたものである。従って、子供向けのものであるが、大人にこそ読んで欲しいと思い紹介する。

2011 年に地震と津波で大被害を被った三陸が復興し、それこそ「希望の海」になる事を希望し、確信して、三陸の海のすばらしさを、写真と絵、イラストと図表、簡潔な文章で綴ったものである。

内容は、「海の生き物編 (エゾアワビ、三陸のウミガメ、海藻と海草、ケガニなど 15 種)」「海のしくみ編 (海水の流れ、黒潮と親潮、45 億年の歴史など 10 項目)」「海と生活編 (漁師の知恵、塩の道、三陸の昔話など 8 項目)」「さんりくの未来編 (地域シンボルをつくる、地域のアーキペラゴ (大小島真紀さんが再建された大槌海洋研究センターの天井に描いた作品と解説と、そのきっかけづくりをしたkさんの紹介) など 7 つの視点からの未来)」で構成されています。お子様にも是非すすめてください。

学校の先生のブック (小学校・中学校の先生)

吉田航・横山健太著、増井敏克監修「基礎からの IT 担当者リテラシー」技術評論社 2068 円

本書は企業で、IT を担当する人のためのリテラシー (基礎・基本) を解説したもので、内容は、「パソコンと周辺機器の用意」「社内インフラの整備」「情報セキュリティの強化」「業務システムの導入」「システム開発を外部業者に委託」と、企業に即した内容である。

しかしながら、本書で、IT リテラシーを身に付け、学校運営や教育活動に、どのように活用したらいいかを考え、計画し、実行する参考になる。(積読の H.K)

★備考★話題提供のために紹介しているだけで、購読を勧めるものではありません。

[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「気になる 1 冊」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。



